



智翠館特別コース企画 探究スペシャル⑩

2月20日(金) 14:30 ~ 15:10

航空自衛隊 32教育飛行隊 藤井 陽さん講演



- パイロットの夢
- 国防、安全保障、
憲法改正等に関して
- 質疑応答



- 本日の講演は本校卒業生で航空自衛隊の藤井陽さんにお越しいただいております
- 在学中は建築士を目指していた藤井さんが、なぜ最終的に自衛官、しかもパイロットになったのか、そして航空自衛官の日常や、日本の国防・安全保障・憲法改正問題等について、可能な限りお話をお聞かせいただきたいと思っております。



講演の冒頭で、藤井さんは・・・

「私の職場を問われたら何と答えるでしょうか？」と生徒の皆さんに問いかけました。

答えは・・・

「空」です！

この言葉には、大空へのあこがれや、今パイロットして空を翔る爽快感、航空優勢（Air Superiority）を担う自負と責任感など様々な思いが凝縮されているようですね！



◆建築士を志して智翠館特別コースに入学したが、途中からもともと関心のあった戦史・軍事情勢・国防と自衛隊の方面へシフトしていき、進路を親と相談する中で「**自分のやりたいことをやらないと後悔する!**」という一念で、反対を押し切って自衛官(ただし懇願されてリスクの少ない陸上自衛隊)になる。

◆空を目指したい思いが強く、「**海上の救難活動に従事するヘリコプターパイロットを目指したい!**」と両親を説得!

◆粘り強く両親を説得し、理解を得て最終的に「**戦闘機パイロット**」を目指すことに・・・

◆現在は国産の中型ジェット訓練機の**T4**(レッドドルフィン)に搭乗しているが、今後は**F35**を目指す!!



パイロットになるまでには
紆余曲折ありまして・・・

- 現在の航空自衛隊の主力戦闘機は米国マクダネル・ダグラス社のF15を三菱重工業がライセンス生産したF15J、ロッキード・マーチン社のF16を日米で共同開発したF2ですが、この度F35を導入することになりました！
また2035年の導入に向けて第6世代の次期戦闘機を英・伊と共同で開発中です!!



一日の中で、実際にジェット機に乗っている時間はそれほどありません

◆ 「パイロットの3割頭」…
この言葉は、上空で発揮できる能力は、地上の3割に過ぎないということを表しています。だからこそ地上での準備が大事なんです。

◆ パイロットは1秒1秒の判断がとても重要…
一日の中で自習時間がけっこう多いけど、誰もが真剣に学習に励んでいます。



実際の国防の担い手である自衛官の方に直接質問できる機会はそう多くはありません。

せっかくの機会ということで次々に質問をさせていただきました(ただし身分・職務上お答えいただける範囲で…)



◆館下先生からの質問
戦闘機を操縦する = 有事への心構えについて
…死の危険を伴うがどう考えているか (死生観)

◆藤井さんの回答
隊の教育でも「死生観」は一朝一夕で形成されるものではない。
「死」を意識するより、国の有事、他人のために命をかけて戦いたい！ というのが今の私の死生観。



◆松村先生からの質問

機体の素材開発による軽量化やエンジン推進力の向上、可変ノズルの導入などによる機動性の向上、ステルス性の向上、電子機器を駆使した僚機とのデータリンクなど、戦闘機の世代は常に進化し、空戦の在り方もどんどん変化しています。今後AIが導入されていく中でさらにパイロットの操縦技能が勝敗を決する比重が低下し、パイロット不在の自動操縦になっていくかもしれませんが、戦闘機に人間が乗る意義とは何でしょうか？

◆藤井さんの回答

アメリカではベテランパイロットがAIに撃墜判定を受けるなど、かなりAIの導入が進んでいる。

今後はドローンが先導し、人間が監視する立場で戦闘が行われるようになり、昔のような対人ドックファイトは起こらないといわれている。

人間が乗る意義…AIならどんな無残な指令でもこなしてしまう。この作戦の是非を考え、引き金を引くかどうか最終判断ができることが有人である意義だと思う。



◆井戸先生からの質問

もし憲法第9条が改正されたとして、自衛隊および自衛官の役割にどのような変化があると思いますか？

◆藤井さんの回答

自分自身としては、憲法改正は最終的には国民投票によって行われるので、国民を守る役割を担っている自衛隊・自衛官として特に何か言うことは無い。条文は人によって多様な解釈が為されるが、すでに現場の自衛隊・自衛官としての役割は明確であり、実務を遂行してきているので、改正によって大きな変化があるとは考えていない。





本日のご講演
本当にありがとうございました

《 生徒の感想より 》

- 藤井陽さんの自衛隊のお話を聞き、たくさんのことを考えることができました。
 - ・ まず一番心に残ったのは親の許可をもらって航空自衛隊に入ったことです。一回諦めたのに後々悔いが残るからと目指す姿に心を打たれました。自分の夢を最後まで貫く姿の話を聞いて僕も自分の意思を最後まで貫きたいと思いました。
 - ・ 次に自衛隊のパイロットのことが詳しくわかりました。自衛隊のパイロットの方は命についてどのように考えているのかを聞いて命に対する考え方も変わりました。僕達は普段普通に生きているけど国を守るために自衛隊の方はとてもハードなことをやっていてほんとに感謝しなければならないと考えました。
 - ・ さらに自衛隊の方は今一番危険な状況だと聞いたので普段のニュースをこれからはしっかりと見て自分なりに考えたいと思いました。ほんとに今回のお話で自衛隊の方がどれほど国を思い、命をかけているかを聞いて感動しました。これからもがんばってください。応援しています。
- 「職場は空」と聞いてすごくカッコいいなと思いました。航空自衛隊は私たち国民の空の安全を守っていて、私たちが当たり前に見ている空でも誰かが守っているから安心できるんだなと感じました。
 - ・ 話を聞いて死生論について考えてみました。藤井さんの、人のために命をかけたいという言葉は全員が言える簡単なことではなく、すごく責任感があり信念のある言葉だなと思いました。そのきっかけなど藤井さんの死生観について詳しく知りたいと思いました。
 - ・ 自分は深く考えたことがなかったので死生論を考えるきっかけになりました。
 - ・ またお母さんが自衛隊をはじめ反対だったと聞き、家族の気持ちを想像してみると不安から完全には送り出せないけれど最終的に送り出すことができたのは本気の思いや決意を感じとったこともあるのかなと思いました。
 - ・ さらにAIの戦争についての話も印象に残りました。AIは正確で、指示をすれば行ってくれるけど全てを任せるのは倫理的によくないと思います。最終的な判断を人間に委ねることにすごく意味があると納得しました。

《 生徒の感想より 》

- 本日の授業を通して、進路を選択する際の覚悟の必要性を学ぶことができました。命をかける仕事を選ぶときの心の強さも知ることができました。今後の進路選択に活かしていきたいと思いました。命をかける仕事を選択して、全うする藤井さんの姿に感銘を受けました。藤井さんのような力強い人になれるように頑張ります。これからもお仕事頑張ってください！
- 自衛隊といえば災害救助のイメージが僕の中では一番大きかったけど、航空自衛隊の話を知っていると戦闘機やミサイルというワードが聞こえてきて、戦争は身近なところにあるんだなと思いました。命をかけながら日々訓練することは、僕は怖くてできないけど、そういう人がいることがその他の人の安心安全な生活につながっているのかなと思うとありがたい存在だなと思います。自衛隊はハードな職業だと思いますが、F-35Aの操縦ができるように頑張ってください。
- 本日の話を聞いて少し不思議に思ったのが、入隊の動機と現在の藤井さんの死生観も含めた意思の差異です。藤井さんは自衛隊に入隊しようと思った動機として成績の不振とか、ご自身の興味についてを、冗談も交えて話しておられましたが、死生観について言及したとき、つまり現在の藤井さんからは、国民を守るという発言の基、見ず知らずの他人の安全保障に命をかけている強い意志がひしひしと感じられ、正直震えました。死生観は一朝一夕で出来上がるものではないとおっしゃられましたが、私には現在の藤井さんと高校生の藤井さんは大きく違うようにも感じられました。もともと進路を考えるうえで、しっかりとお考えになったのももちろんだと思います。けれど、私にはそれは訓練を通して得たものすごい飛躍、成長？に感じました。私が数十年後、何かや誰かに対して藤井さん相当の覚悟や責任感を抱いている姿も想像できないし、そもそも、自分がすごく心惹かれる分野だからといって、ものすごくきつい訓練を毎日継続することも困難であるだろうと考えると、藤井さんは本当にすごいなと感じました。喋り方もはっきりしていて、紙幣も良くて、考えがはっきりしていて、このような方が国防に携わってくださっているのだという安心感も感じました。夢のため、私達のため働いてくださってありがとうございます。応援しています。

《 生徒の感想より 》

- 進路の相談をし、反対されたときに「自分のしたいことをしないと後悔する」と思って両親を説得してその道を進んだという話がすごく心に残っています。私は自分の将来を考えたときに周りの大人の方や両親に「この道がいいんじゃないか」と助言してもらうことがあります。それが正しいと思ってしたときもあったけどやっぱり自分の本当にしたいことには叶わないし、きっと自分に正直に生きているときの自分を一番好きになれるんじゃないかなと思いました。高校卒業後の将来に限らず日々の生活の中で悩むことや本当にこれでいいのかと不安なことがあった時に周りの意見に耳を傾けつつ、自分の本当に大切にしたいことを考えて行きたいと思います。藤井さんが自分の意志をきちんと伝えて自分の人生を歩く姿を自分にすごいなって尊敬したのでぜひこれからも頑張ってもらいたいです！
- 自衛隊に陸上、海上、航空の3つがあることは知っていましたが航空自衛隊はどんなことをするところなのかは知らなかったので勉強になりました。日本は戦争をしない国なので自衛隊は国のために戦えるように訓練をしている人たちという印象と災害の救助部隊という印象もありました。どちらかといえば後者の印象が強かったです。ですが今日の話の戦闘機があったりそれに乗るパイロットの方がいたり、不審なものが領域内にはいると迎撃するという話を聞いて日本もやろうと思えば(自衛のための)戦争ができるんだと思いました。もし戦争が起きたときに今のままではすぐに植人地化や捕虜になるというのもあり得るんじゃないかと思っていたので少し安心しました。
- ・ 私も雨の日に雲の上に行って晴れたきれいな空を見てみたいです。
- ・ 今日お話を聞く限りこれまでも大変な訓練を乗り越え、また卒業後にも一人前になるためにたくさんの訓練があり大変だと思いますが、藤井さんのような人に空を守ってもらえたら安心だなと思ったのでこれからも頑張ってもらいたいです。